

吟遊・夏石番矢賞二〇二四

Ginyu Ban'ya Natsushishi Prize 2024

山岸 竜治 Ryuji YAMAGISHI



略歴

一九六六年一〇月千葉県生まれ。千葉県立佐倉高等学校卒業後、こんにちいうひきこもりを経験し、二七歳で日本大学文理学部教育学科に入学。休学、留年、中退、再入学などがあり、四一歳で日本大学大学院を修了。博士（教育学）。博士論文をもとに『不登校論の研究——本人・家庭原因説と専門家の社会的責任』（批評社、二〇一八年）を公刊。日本教育学会、日本社会臨床学会、日本病院・地域精神医学会、絵本学会などに所属。不登校、いじめ、児童青年期の心の健康などを当事者の立場に立って研究している。俳句は金子兜太に師事、その後『海程』を離れた。近藤芳美に師事し、短歌も書く。一九九二年以来『未来』に所属し、現在「×月新集」欄。教職課程の担当者として、日本大学生産工学部教養・基礎科学系准教授を経て、多摩美術大学美術学部リベラルアーツセンター教授。初めての句集『君はポップな日本の詩』（仮題）、又やはり初めての歌集『アソナとひかる』（仮題）を準備中。

授賞理由

純粹で無垢な感性と軽薄に見えて骨太な社会批判。

授賞作

● 「吟遊」第九九号（二〇二三年七月）

いや、あれはあれで問題維新の覚

かげろうの中のもじやもじや母である

葉桜や今も戦車は好きですか
メール見ずすごすいちにち五月ばれ
昨日より新しい君夏は来ぬ

● 「吟遊」第一〇〇号（二〇二三年十月）
遠花火一本道がありました
蚊蚊蚊蚊殺すしかなく殺しけり
夏の陽がかつかと注ぐZ大へ
俳句この静かなるもの叫ぶもの
「愛してる」そういうところがとても怖っ！

● 「吟遊」第一〇一号（二〇二四年一月）
天高し朝潮に似た赤んぼう
星月夜にやばあと笑う赤んぼう
新しい闇は生まれるヒガンバナ
教え子と先生実はクズとゴミ
4 シーズン浮気男はピカソ好き

● 「吟遊」第一〇二号（二〇二四年四月）
お正月俺も間もなく高齢者
行け、鷹が飛び立つように受験の子
ひな祭り母はアラレに似ておりぬ
急停車車掌爆走冬日和
四月バカ今のテレビはほんとバカ